

- 開催日時：平成28年8月29日（月）14:00～15:30
- 場 所：八日市商工会議所 4階 大ホール
- 出席者：委員20名（2名代理出席） 事務局6名 傍聴2名

## 1 開会挨拶

会 長：本日はお集まりいただき、感謝する。7月25日に東近江市中心市街地活性化協議会を設立して、今後、基本計画の策定、認定に向けて、皆様の有意義な意見を反映させていきたい。ご協力を願いたい。

## 2 議事

### (1) 委員及びアドバイザーの加入について

会 長：規約に従い、会長の私から新規委員を1名、アドバイザーを2名指名したいと考えている。新規委員として、株式会社平和堂アル・プラザ八日市支配人の加藤氏、アドバイザーとして、立命館大学理工学部教授の及川氏と西日本旅客鉄道株式会社京都支店地域共生室長の中島氏をお願いしたい。なお、立命館大学の及川氏は本日欠席である。

事務局：（資料1の説明：新規委員とアドバイザーの紹介）

会 長：承認していただけるのであれば、拍手をお願いしたい。

全委員：（拍手により、承認）

事務局：資料1にある構成員名簿はHPにも掲載する。

### (2) 第1回東近江市中心市街地活性化協議会会議録について

事務局：（資料2の説明：前回の議論のポイントの説明）

議事録の配布が本日になったため、本日は仮承認をいただき、後日修正等の指摘があれば行った上で、最終確定としたい。

会 長：修正等ないか。

全委員：（特に修正等の意見なく仮確定）

### (3) 東近江市中心市街地活性化基本計画素案について

事務局：（資料3の説明：前回からの変更点、事業についての説明）

会 長：積極的な意見を頂戴したい。何か意見はないか。

委 員：新規出店店舗に関する目標設定の考え方について、前回意見させてもらったが、その点について、変わったのか変わっていないのか、確認したい。

事務局：例えば15店舗増えたが、20店舗減ったという場合、実際にはマイナス5店舗になるが、現段階での考え方としては、魅力ある集客する店舗を15店舗増やしたというところで評価したいと考えている。

委 員：この中心市街地の活性化を考える場合、駐車場の問題は大きいと思う。P69にある駐車場整備検討事業について、新たに駐車場を整備することは現段階で具体的にあるのか。また、既存駐車場の連携と書いてあるが、具体的にどのようなようにしていくのか。

事務局：皆さまもご存じの通り、新たに駐車場を整備していく用地がなかなかないというのが現状。そのため、駐車場整備検討事業では、既存駐車場のネットワーク化を考えたいと思っている。この事業についてもまだ検討中だが、例えば、市役所の職員駐車場は土日は空いているため、市役所に停めてもらい、まちを歩いてもらう等の仕組みを考えていきたい。

委 員：中心市街地の区域については、全て市街化区域なのか。

- 事務局 : 一部延命公園の部分については、市街化調整区域だが、他は全て市街化区域である。
- 委員 : 市街化区域の見直しができるのであれば、中心市街地の近くはできるだけ市街化区域にしていくことも検討してほしい。市街化調整区域では、大型商業施設を呼んでこようと思っても何もできない。また、都市計画道路との連携も考えて、市街化区域の見直しも考えてほしい。
- 都市計画道路も中心市街地区域を最優先に整備してほしい。
- 委員 : 市民活動基盤整備検討事業とあるが、文芸会館や大鳳会館だけを検討していくということか。中心市街地外域外の施設は該当しないのか。
- 事務局 : この計画の中では、中心市街地区域の施設について、検討する事業になっている。
- 委員 : 空家改修事業などについて、どのような形で補助しているのか。現金を支給しているのか。
- 事務局 : 多世代同居・近居住宅取得事業等については、現在、企画課で実施している。条件を満たす住宅取得等場合に補助している。上限 50 万円を現金で補助している。商工労政課で実施している既存の住宅リフォーム事業については、1 割補助、上限 30 万円までとなっており、三方よし商品券で支給している。
- 委員 : わが町の特徴的なイベントであるジャズフェスや二五八祭りも入れてもらいたい。中心市街地活性化の重要なツールである。
- 委員 : ジャズフェスは全国各地にあり、東近江市のジャズフェスも全国的に有名である。ぜひ、入れてもらいたい。
- 事務局 : 先日、ジャズフェスの事務局とも話をし、ぜひ入れていきたいとは伝えている。
- 委員 : 経済活力の向上のための事業については、中心市街地の基盤整備とともに行っていくソフト事業が中心になると思うが、非常に重要な事業である。実施主体をどこまでしっかりと書き込めるのかが重要である。
- 委員 : 道路空間有効活用事業の実施主体について、八日市駅前近代化協同組合も、積極的に取り組んできたいので、入れてもらいたい。
- 事務局 : グリーンロードは県道のため、県との協議、確認を進めているところである。条件等がわかり次第、お伝えしたいと考えている。実施主体については、ぜひ入れさせていただきたい。
- 委員 : 観光とミックスさせていくという考え方はないのか。他の地域からもっときていただくための仕組みや流れをもう少し入れていったほうがよいのでは。
- ここに書いてあるだけでなく、商工会議所の青年部ではバルを始めている等、新しい取組みもいろいろと始まっている。新しいことをどんどんやっていくという姿勢を計画書に書き込んでいけたらと思う。
- 事務局 : バルについても中心市街地内の店舗が中心となっている事業なので、計画書に入れていけるように、商工会議所の青年部と調整したい。計画書に記載するという事は事業期間を書く必要があるため、計画的に継続していく取組みについては、積極的に入れていきたいと考えている。
- 観光については、「観光交流ツアーの実施」ぐらいしかなく、確かに弱いと感じている。これから検討していく必要があると考えている。
- 委員 : 近江鉄道・バスの IC 化については、以前からもご提案いただいておりますので、弊社でも今回の基本計画の中活事業として検討作業を行い、導入が可能であるとなった場合には次のステップとして、IC 導入自体の中活事業に入れていただくという流れかと思っている。
- アドバイザー : 地域の皆さんがこの計画について、いかに自分たちのこととして実施していくかが重要であると考えている。前回、市長の挨拶の中でも、イベントをやってもその時だけしか人が集まらなかったのは、行政の怠慢であり、地元の熱意の足りなさという話が出ている。地域共生室として地域の方々を関わる中で、滋賀県の皆さんは土地が豊かであり困って

いないと実感している。今まではそれでよかったかもしれないが、今後ますます人口が減り、商いも厳しくなる中で、いかに交流人口を増やすかが重要である。まちづくり会社だけがやればよい、観光協会だけがやればよいという話ではなく、地域のキーマンと呼ばれるようなやる気のある方々が、たくさん実施主体に入っていける仕組みづくりが重要だと思う。

アドバイザーという立場として、少し他都市事例を紹介したい。8/1に草津線のIC化をプレス発表した。三日月滋賀県知事にも滋賀県全域のシームレスな移動のためにICカードが利用できる交通機関が増えるように県としても応援していきたいと決意表明してもらっている。近江鉄道のほうでもぜひ進めていただければと思う。

8/23に大津駅リニューアルについてプレス発表した。大津駅は日本で一番さみしい県庁所在地の駅と言われてきたが、このたびやっと手を入れていくことになった。おしゃれなカフェも各地でやっているバルニバービという会社に入ってもらい、カプセルホテル運営もやる。バルニバービ社は、大津を何とかしなくてはいけないということで、現在、地域のほうにも入っていつている。バル等大津市で開催されるイベントにも参画する予定である。その中には、6時半から県民の方々とラジオ体操をして、その後朝食を食べてもらうというようなものもある。また、地元の食材を使った料理教室もある。また、これまでにない観光案内もやろうとしている。このようにやる気のある民間事業者が地域の中で活動してくれることによって、大きく流れが変わると思う。東近江市でも駅前にくるホテルを1つの契機として活性化の道筋をつけていてもらいたいと思う。

会 長 : 本日いただいた意見等は整理をして、計画書に反映していきたいと考える。

### 3 その他

#### (1) 協議会事業について

事務局 : 規約にも記載しているプロジェクト会議を設置したいと考えている。プロジェクト会議では、新たな事業のタネを作っていく目的で、民間事業の実施に向けての検討や研究を行い、本会議に事業提案をしていく。

事例発表については、中心市街地において、現在計画されている事業について、民間事業者の方々に紹介していただき、新たな事業のヒントを得ていきたいと考えている。

先進地視察研修については、中心市街地活性化事業に成功している地域やうまくいっていない地域を視察し、東近江市に活かす目的で行いたい。日程上、日帰りで行けるところになるが、視察先の候補を委員からも提示していただきたいと考えている。

#### (2) 次回予定について

事務局 : 10/6(木)14時～、又は10/13(木)で開催したい旨提案したが、両日とも複数委員の都合が悪かったため、改めて日程調整することとなった。

### 4 閉会

(終了)